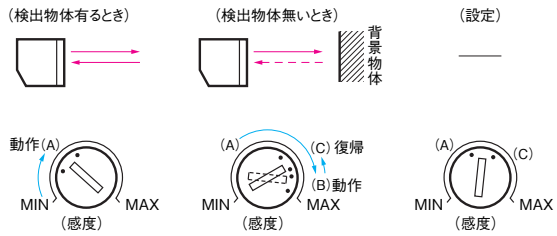


形E3JM/E3JK

調整について

項目 形式	透過形	回帰反射形	拡散反射形
形E3JM	タイマ機能付きの場合、動作モード切替えスイッチにより表示灯の点灯モードがL・ONにて入光時点灯、D・ONにてしゃ光時点灯になります。	タイマ機能付きの場合の表示灯点灯モードは透過形と同じです。	タイマ機能付きの場合の表示灯点灯モードは透過形と同じです。
形E3JM、 形E3JK 共通事項	受光器および投光器を上下、左右に振り、受光器の表示灯が点灯する範囲の中央に設定してください。	透過形と同様に、反射板と投・受光器を調整してください。投・受光器の指向角は1～5°ですので投・受光器の調整は特に慎重に行ってください。	 <p>(1)図のように検出物体が有るとき、感度ボリュームを右に回し(感度を上げる)表示灯が点灯するボリューム位置を(A)とします。</p> <p>(2)検出物体を取り除き、感度ボリュームを右に回し、背景物体で表示灯が点灯する位置を(B)とします。</p> <p>(3)(B)から感度ボリュームを左に回し、(感度を下げる)表示灯が消灯する位置を(C)とします。</p> <p>(4)(A)と(C)の中間位置が最適位置です。最大感度るとき、背景物体で表示灯が点灯しない場合は、(A)と最大感度の中間に設定します。</p> <p>・感度調整ボリュームを過大な力で回しますと破損することがあります。</p>